

令和 4 年度 美しい“ふじのくに” インフラビジョン推進会議

報告事項

令和 5 年 2 月 2 日





報告事項

- 1 インフラビジョンの広報について
- 2 政策研究サークル「インフラと静岡の未来を考える会」について





1 インフラビジョンの広報について

(1) 広報の取組 [1/3]



公表 ⇒ 6月

2022年
3月

- 美しい“ふじのくに”インフラビジョン ホームページ公表

4月

- 小冊子「インフラと静岡の未来について、いっしょに考えてみませんか？」
デジタルサイネージへ掲示 (@県庁本館2階)
- 「土木技術職員説明会」 (@部内全出先事務所) でインフラビジョンを説明

5月

- ホームページ更新 (小冊子データ掲載)
- 小冊子をデジタルサイネージへ掲示 (@県庁東館2階、イオンモール浜松市野店)
- 浜松工業高校 出前講座
- 県民だより6月号掲載

6月

- 記者懇談会 (小冊子配布)
- ホームページ更新 (インフラビジョンのスライド動画掲載)
- 「ふじのくにオープンデータカタログ」へ、インフラミンゴの画像データを掲載





1 インフラビジョンの広報について

(1) 広報の取組 [2/3]



7月 ⇒ 9月

7月

- 掛川工業高校 出前講座
- 小冊子4,000部印刷。出先事務所へ配布。
県内大学、高校、中学校、小学校へ配布。(小中学校は授業の参考シナリオ添付)
- 「浜名湖ミナトリング」(@浜名湖)でインフラビジョンパネル展示。小冊子配布
- 「新東名高速道路10周辺開通イベント」(@静岡SA、浜松SA)で小冊子配布

8月

- アピタ大仁店、及び「しずおか建設まつり」(@トライアルパーク蒲原)でインフラビジョンパネル展示。小冊子配布
- イオンタウン富士南店でインフラビジョンパネル展示
- ホームページ更新(「2050年 私はこんな“まち”に住みたい」投稿方法、事例掲載)

9月

- 「中部地域づくり講演会」(@あざれあ)でインフラビジョンを説明
- 砕氷艦「しらせ」一般公開(@清水港)で小冊子配布
- 稲子小学校 出前講座





1 インフラビジョンの広報について (1) 広報の取組 [3/3]



10月 ⇒ 1月

10月

- 「建設技術フェアin中部」 (@名古屋市) でインフラビジョンパネル展示。小冊子配布。
- 静岡大学との連携講座でインフラビジョンを説明

11月

- 「新技術交流イベント」 (@あざれあ) でインフラビジョンパネル展示。小冊子配布。

12月

- 県立中央図書館でインフラビジョンパネル展示。小冊子配布。
- 小冊子 2, 000部増刷
- 2023年静岡どぼくらぶカレンダーへの掲載

1月

- 藤枝どぼくらぶ「まちづくり」講座

等々・・・





1 インフラビジョンの広報について

(2) 成果



● インフラビジョンのホームページ閲覧回数

2,030回 ^{※1}

【参考】

- 平成30年度 … 959回
- 令和元年度 … 670回
- 令和2年度 … 485回
- 令和3年度 … 1,393回 (～2022年3月28日(県ホームページ公表日前日))

※1 2022年3月29日(県ホームページ公表日)～2023年1月18日

● 「インフラミング」画像データのダウンロード回数

1,048回 ^{※2}

※2 2022年6月28日(「ふじのくにオープンデータカタログ」掲載日)～2023年1月31日

● 「2050年 私はこんな“まち”に住みたい」の作品数

9作品 ^{※3}

※3 2023年1月31日時点

少ないか。。。 (in a dashed blue speech bubble)





1 インフラビジョンの広報について
 (3) 「2050年 私はこんな“まち”に住みたい」について [1/2]



40代・中堅土木職員が描いてみた。。

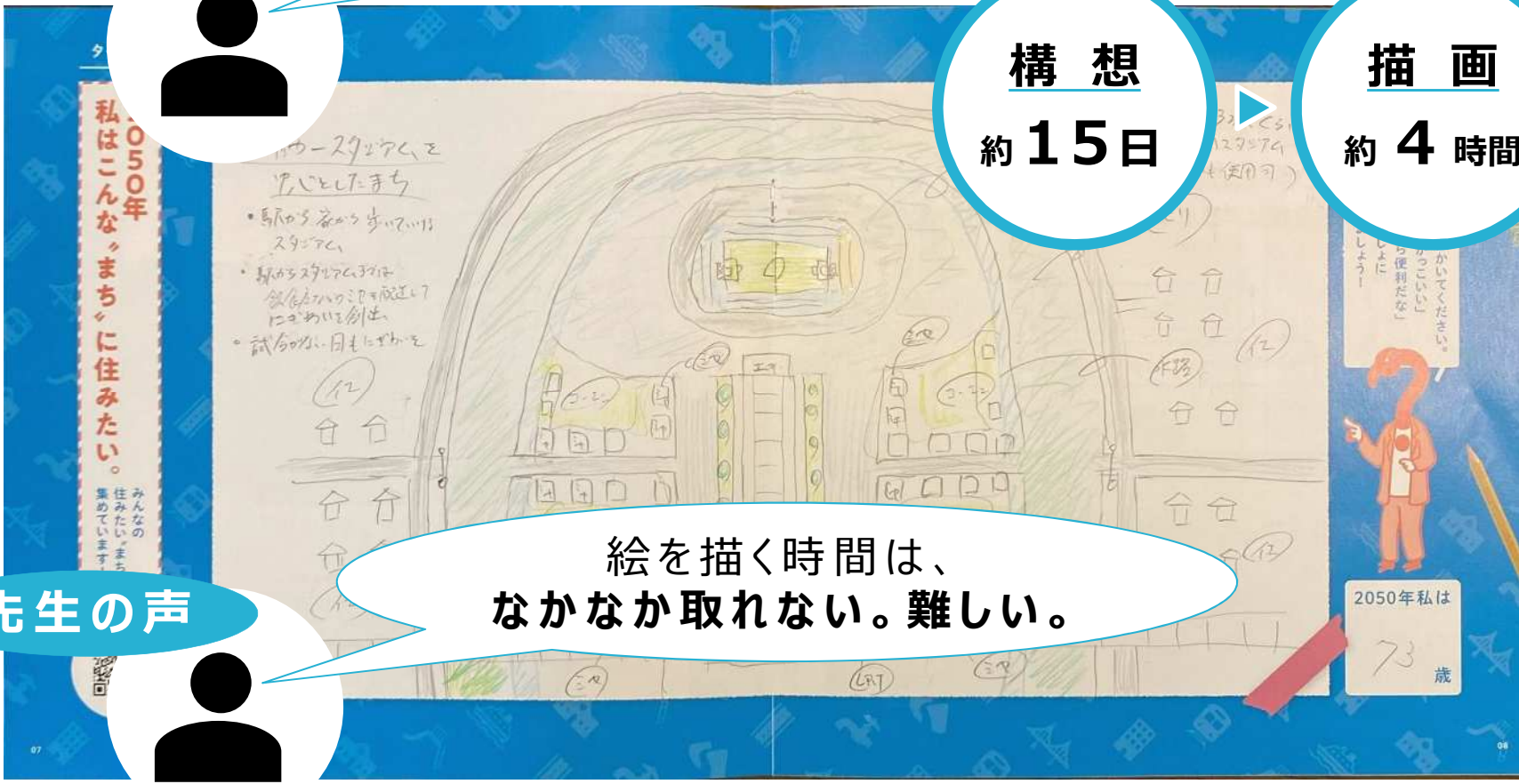
所感

けっこう、大変。。

▶ それなりに時間が必要

構想
約15日

描画
約4時間



先生の声

絵を描く時間は、
なかなか取れない。難しい。





1 インフラビジョンの広報について (3) 「2050年 私はこんな“まち”に住みたい」について [2/2]



今後の取組 (案)

- 考えて、さらに絵を描くことはたいへん。お願いするばかりでよいのか？

小冊子のタイトルが、「インフラと静岡の未来について、いっしょに考えてみませんか？」
であることを踏まえると・・・

- まずは、職員自らが、考えて、描くべきではないか？

今後の取組 (案)

- 事例を増やす。

**職員による
描画**

- みんなで考え、楽しみながら描く。



- 部広報チームなどと連携しながら...

**取組や事例の
発信・展開**

- ホームページ
- SNS
- どぼくらぶカレンダー etc.

出前講座で活用
夏休みの課題として活用促進



絵は完成しなくても、
考えていただくことが
重要ではないか。

県民の描画

- ホームページへの掲載
- 将来的には、コンテストの開催・・・





2 政策研究サークル「インフラと静岡の未来を考える会」について (1) 概要 [1/2]



立ち上げ趣旨

- 「美しい“ふじのくに”インフラビジョン」では、「2050年を見据えた本県の未来を創るインフラのあり方」として、「社会・経済・環境の調和による、持続可能で強靱な県土づくり」と定めている。
- これに取り組むには、これまでの延長線上の取組では不十分であり、取組の検討には、交通基盤部内だけの思考では限界がある。
- 先進的な取組や柔軟な発想を取り入れていくために、大学や企業、行政機関などと意見交換を行うサークルを立ち上げ。

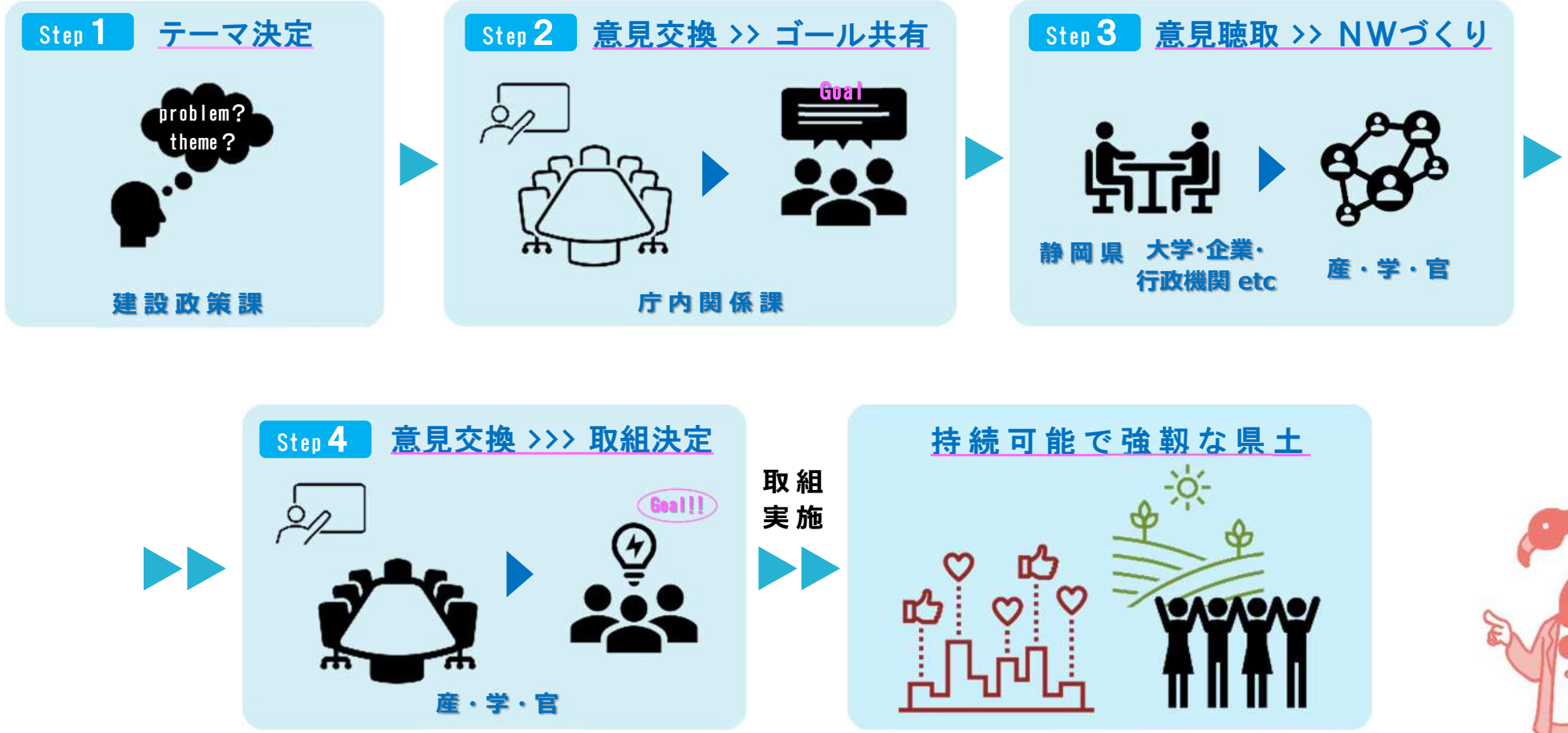




2 政策研究サークル「インフラと静岡の未来を考える会」について (1) 概要 [2/2]



進め方 (イメージ)





2 政策研究サークル「インフラと静岡の未来を考える会」について (2) テーマ



- **カーボンニュートラル**
 - ・ 取組の方向性 (⇒ P 1 2)
 - ・ セメント・コンクリート資材のカーボンリサイクル (⇒ P 1 4)
- **インフラの維持管理**
 - ・ 民間活力を用いた維持管理の手法や仕組み (⇒ P 1 6)
- **広報**
 - ・ 「広報のススメ」の改定 (⇒ P 1 6)
- **グリーンインフラ** (来年度から予定)





2 政策研究サークル「インフラと静岡の未来を考える会」について

(3) 活動状況



- **6月9日 活動開始** (参加者 建設政策課6名)
 - 試行的に、「広報」について建設政策課内で意見交換。
 - 以降、随時開催し、「広報のススメ」の改定作業を進めた。(6/14,6/20,7/5,7/20,7/28開催)
- **8月2日 第1回会合** (参加者 建設政策課2名、技術調査課、道路企画課、河川企画課、港湾企画課、都市計画課 各1名)
 - 「カーボンニュートラル」に関する取組の方向性について意見交換
 - コンパクトなまちづくりやカーボンリサイクルの取組の重要性を共有
- **9月7日 第2回会合** (参加者 建設政策課3名、技術調査課、道路企画課、河川企画課、港湾企画課、都市計画課 各1名)
 - 「インフラの維持管理」について、下田市で実施している先導的官民連携事業の事例を共有。意見交換。
- **10月14日 専門家への意見聴取 (カーボンニュートラル)** (参加者 建設政策課、都市計画課 各1名)
 - 静岡大学情報学部のコンパクトシティの専門家へ意見聴取
- ~~11月中旬~~ **先進地調査 (カーボンニュートラル)**
 - セメント・コンクリート資材のカーボンリサイクルについて、先進地の取組状況を調査
 - インフラ分野におけるカーボンニュートラルの実現に資する取組や、グリーンインフラに関する取組などについて情報収集
 - ⇒ 調査受入先の都合により延期





2 政策研究サークル「インフラと静岡の未来を考える会」について (4) カーボンニュートラルに関する取組の方向性 [1/2]



二酸化炭素排出量※の分析

- 交通基盤部が関係する二酸化炭素の排出は、「産業部門（建設業）」、「運輸部門（自動車、鉄道・船舶）」、「工業プロセス及び製品の使用（セメント製造）」など。
- 排出量は、全体の約2割強であり、**自動車の排出量が支配的**
(全体の16.1%、**部関係の74.9%**)
- 次点は、「工業プロセス及び製品の使用」の「**セメント製造**」2%強。これ以外は、**どれも1%に満たない。**

※ 当部が関係する部門等の割合は、国立環境研究所「日本の温室効果ガス排出量データ（1990～2019年度）確報値」の数値（2019年度、全国）をもとに、静岡県建設政策課において算定

分析を踏まえた方向性（案）

- 自動車への対応が不可欠。次世代自動車への転換しつつ、**走行台数の削減が必要。**
▶ **自動車に頼らない生活環境の確保が必要**

方向性（案）

コンパクトなまちづくりの推進ではないか。





2 政策研究サークル「インフラと静岡の未来を考える会」について (4) カーボンニュートラルに関する取組の方向性 [2/2]



専門家への意見聴取

- 静岡大学情報学部のコンパクトシティの専門家へ意見聴取
 - ▶ コンパクトシティが、カーボンニュートラルに、どの程度結びつくかは詳しく議論が必要との意見

今後の活動予定

- 引き続き、専門家への意見聴取や先進地の調査を行い、方向性をとりまとめていく。





2 政策研究サークル「インフラと静岡の未来を考える会」について (5) セメント・コンクリート資材のカーボンリサイクル [1/2]



二酸化炭素排出量の分析等から

- 「工業プロセス及び製品の使用」の「セメント製造」における二酸化炭素排出量は、全体の**2%強**※。
- 2050年カーボンニュートラルの実現には、**自動車だけでなく、建設工事の主要資材であるコンクリートの原料、セメントについての対応が不可欠。**

※ 国立環境研究所「日本の温室効果ガス排出量データ（1990～2019年度 確報値）」の数値（2019年度、全国）をもとに、静岡県建設政策課において算定

カーボンリサイクル（CR）

- 「**カーボンリサイクル（CR）**」とは、**CO₂を資源として捉え、これを分離・回収し、鉱物化によりコンクリート等へ再利用し、大気中へのCO₂排出を抑制する技術**
- セメントの原料には、**国内の総廃棄物の5%を占める都市廃棄物や災害廃棄物などを活用していることから、セメント・コンクリート資材のCRは重要**
- 2019年6月に公表した「グリーン成長戦略」では、**2030年までに、「セメント製造工場でのCO₂回収技術の開発」や「低コスト化したCO₂吸収型コンクリートについて地方自治体の調達拡大」**することを目標





2 政策研究サークル「インフラと静岡の未来を考える会」について (5) セメント・コンクリート資材のカーボンリサイクル [2/2]



県内の取組を進めていくには、産学官が連携し、CR技術の開発や開発技術の導入促進が必要ではないか。

先進自治体（広島県）

- すでに**県内企業等がCO₂を固定化させる技術を開発し、CO₂吸収型コンクリートを事業化させ、歩道ブロック等に使用。**
- 2021年5月に、**県内外の企業・大学団体等による「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会」を設立。**さらに、2022年3月には、「**広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進構想**」を策定。

調査内容

- **CR資材の実用化について**（経緯、導入した流れなど）
- **今後のCR資材の採用について**（今後の展開、使用する際のルールなど）
- **大学などとの産学官との連携について**（経緯、今後の展開など） など

今後の活動予定

- **引き続き、国の動向を注視しながら、先進地調査を行い、対応を検討していく。**





2 政策研究サークル「インフラと静岡の未来を考える会」について (6) その他のテーマ



テーマ「インフラの維持管理」

これまで

- 「インフラの維持管理」について、下田市で実施している先導的官民連携事業の事例を共有
- 異なる管理者同士や施設を横断する包括的民間委託の導入を検討していく必要性を共有。

今後の予定

- **先導的官民連携事業の取組状況や先進地の調査などにより、包括的民間委託の導入に向けた課題を整理**

テーマ「広報」

これまで

- 「広報のススメ※」を改定

※平成29年度に交通基盤部政策監付が策定した、当部が取り組む戦略的PRの解説や広報の手段などをまとめた手引き書

今後の予定

- **今年度内に改定作業を完了**



「美しい”ふじのくに”インフラビジョン」の
データはこちらから

